

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 グループホームでも、「看取り」を行うことが増えてきている。看護職が配置されていないため、介護職の「看取りケア」に対する知識や、特養看護職へ協力体制作りが必要	グループホームの介護職が看取りに対する不安を少しでも解消できるように、またマニュアルを作成することで統一した看取りケアが出来る様にする。	①法人のマニュアルにある「ターミナルケア」を再確認し、周知する。 ②「看取り」の状態等の知識を得る。 ③グループホーム独自のマニュアル作成	12ヶ月
2	35 (13)	○災害対策 いつ災害が起きるか分からない。施設の前には一級河川が流れており、水害等のリスクはある。 夜勤専門のスタッフは訓練に参加できない状況である。	夜勤専門のスタッフおよび全スタッフがあらゆる災害のシミュレーションにて対応できるようにする。	①夜勤専門スタッフが分かりやすく、見やすいような災害時の一覧表等の作成 ②定期的な訓練等の計画	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。